

人間都市計画特論

フィールドからみた建築史研究

第1回：講義の概要

建築史と野外調査

- 建築史：

- 歴史的環境を検討することで、空間と人間の関係を理解する
- 様々な資料を通して、目的とする建築が存在した時代や空間の再現

- 野外調査：

- そこにある現実を分析可能な資料に変換する作業
 - 資料に変換：現実を記録すること
 - 現場での発見と考察
 - 調査後の実験的作業

授業の目的

- 建築史の方法
 - 実験科学
 - 文献科学
 - 野外科学
- 野外調査を通じて、建築史における研究の方法とそこから得られる成果について、実際に実施した海外の文化財調査から説明する

講義内容

- ① 調査の概要と準備
- ② 実際の調査
 - ③ アルメニア共和国のキリスト教建築遺構調査
 - ④ ブータン王国の建築遺構の調査
 - ⑤ インドネシアの植民地住宅調査
 - ⑥ イギリスの近代遊園地成立に関する調査

単位の取得・テキスト等

- 学期末の試験によって認定
- 必要に応じて、レポートの提出
- 必要なテキスト、参考文献等は、授業において適宜配布する